

産業廃棄物処理計画作成（変更）報告書

令和5年6月20日

（宛先）  
埼玉県 環境管理事務所長 殿



提出者  
住 所 埼玉県入間郡三芳町竹間沢283-1  
氏 名 株式会社T&K TOKA  
代表取締役社長 増田 至克  
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）  
電話番号 049-258-1611

令和5年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画作成（変更）したので、埼玉県生活環境保全条例第20条第2項前段（後段）の規定により、次のとおり報告します。

事業場の名称	株式会社T&K TOKA 埼玉事業所
事業場の所在地	埼玉県入間郡三芳町竹間沢283-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	売上高：約346億円（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
③ 従業員数	484名（令和5年4月1日現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

## (第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ①ペーパーレス化による紙類の削減 ②製造工程によるロスの削減 ③原材料の容器等の形体変更 ④再利用可能品の積極的な再利用 ⑤分別の徹底による、廃棄物の有価物化		
②計画	【目標】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状実施している取り組み(①～⑤)を今後も積極的に実施し、産業廃棄物の削減に努めていく。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 有価物化・再資源化や環境負荷低減(特に廃棄物処理工程で排出されるCO2削減)ができるような処理業者を選別し、処理を行う為、廃油、廃プラスチック類、金属くずなどを形体・性状により細分化し分別している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取り組みをより強化していく、特に分別強化により有価物を増加し、廃棄物の排出抑制につなげていきたい。		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（                      年度）実績】別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の再生利用については特に実施していない。		
② 計画	【目標】別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状では実施していく予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（                      ）実績】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関しては特に実施していない。		
②計画	【目標】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 焼却・減量の実施計画はありません。		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（                      年度）実績】 別紙3のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 自ら産業廃棄物を埋立処分又は海洋投入処分は行っていない。	
②計画	【目標】 別紙3のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 現状実施しておらず、今後も実施する予定はない。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（                      年度）実績】 別紙3のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物は全て処理業者へ委託処理している。 当社の中期目標は「ゼロエミッション達成」であり、再資源化業者などの選別を行っている。 委託業者については、契約前に業者を視察し、またその後は定期的に視察をするなど適正に処理されているか確認を行っている。 また、分別の項目でも記載したが、処理工程における環境負荷低減ができるような処理業者へ委託するよう活動を強化している。	

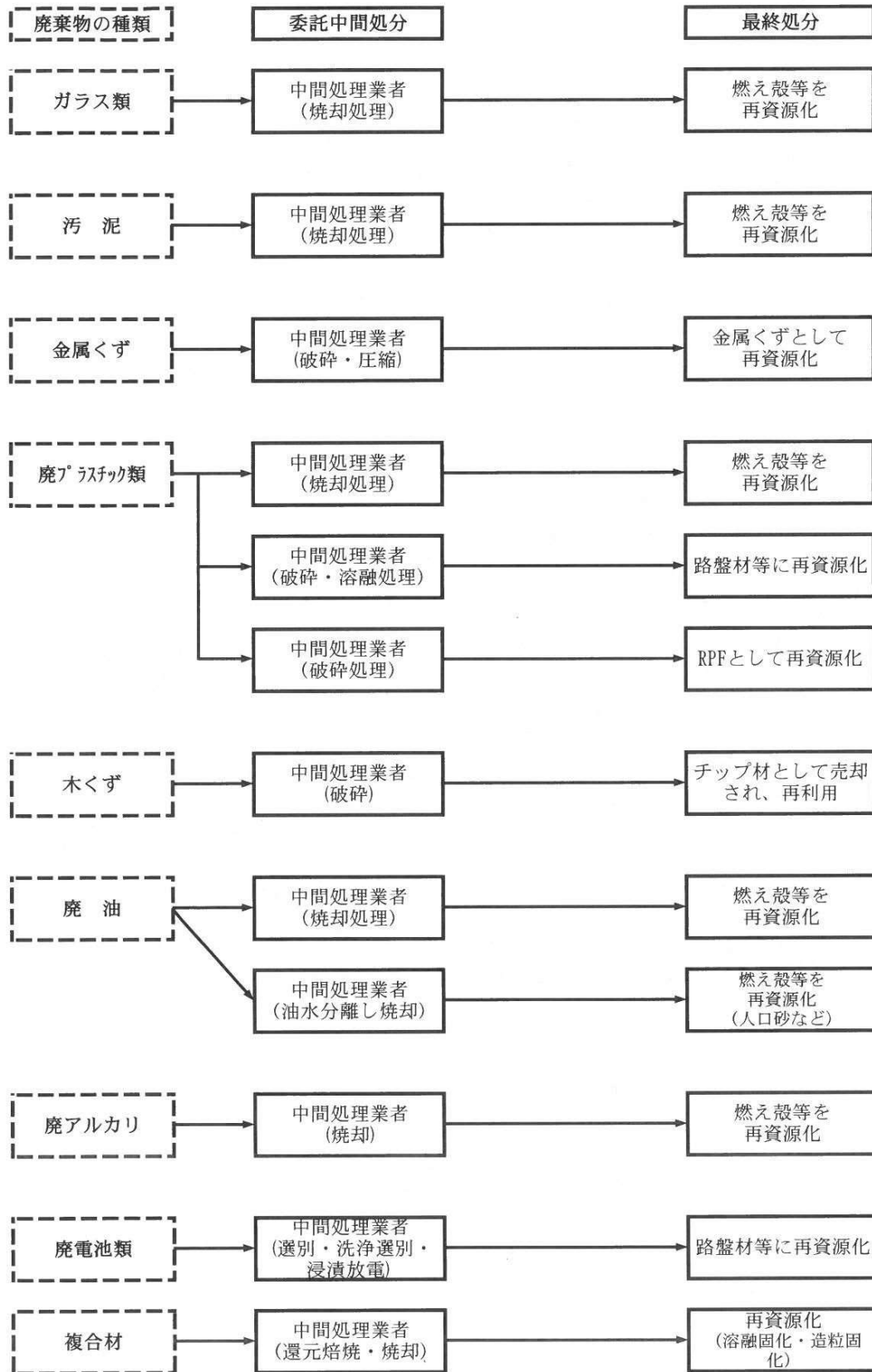
## (第5面)

②計画	【目標】 別紙3のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>ゼロエミッションを達成するため、再生利用業者への委託を行っていくまた、廃棄物処理の工程での環境負荷低減できるよう処理業者を選別し積極的に利用するなど現状の取り組みを強化していく予定である。</p>		
※事務処理欄		

備考

- 1 「変更の概要」の欄は、変更の報告の場合に記載することとし、その記載に当たっては、変更した部分について変更前及び変更後の内容の概要を対照させること。
- 2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記載すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記載すること。
  - (2) ②欄には、製造業における製造品出荷額（前年度実績）、建設業における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関における病床数（前年度末時点）等、業種に応じて事業規模が分かるような前年度の実績を記載すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物について発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記載すること。
- 3 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量及び自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記載すること。
- 4 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記載するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和46年政令第300号）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、再生利用業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項の認定を受けた者）への処理委託量並びに認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記載すること。
- 5 それぞれの欄に記載すべき事項の全てを記載することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記載すべき事項がないときは、「一」を記載すること。
- 6 ※印の欄には、記載しないこと。
- 7 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

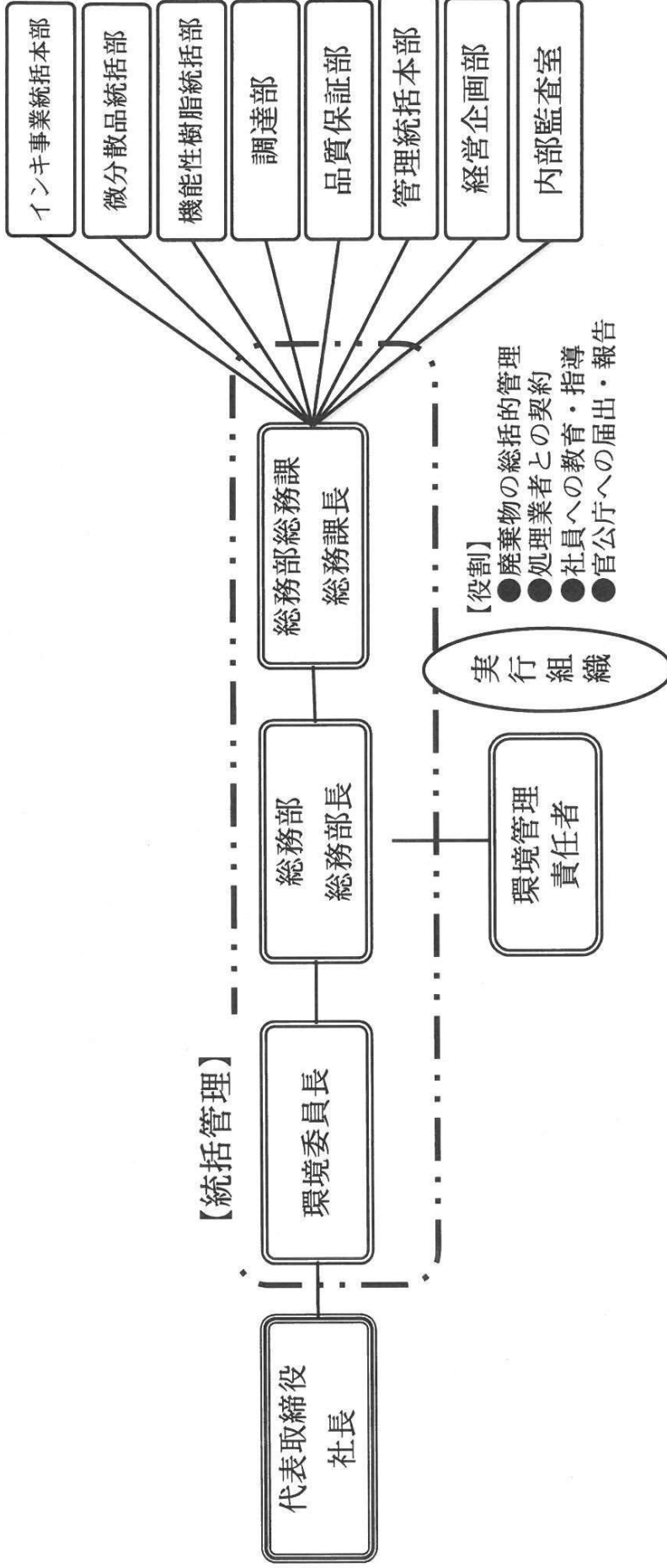
●委託処分廃棄物処理フロー



(株)T&K TOKA 埼玉事業所  
産業廃棄物管理組織図

別紙2

【排出部署】



【統括管理】

【役割】

- 廃棄物の総括的管理
- 処理業者との契約
- 社員への教育・指導
- 官公庁への届出・報告

実行組織

環境管理  
責任者



●令和4年度産業廃棄物排出実績値

廃棄物等の種類	① 産業廃棄物排出量	② 自己直接再生利用量	③ 自己中間処理量	④ 自己熱回収量	⑤ 自己中間処理減量	⑥ 自己埋立処分又は海洋投入量	⑦ 全処理委託量	⑧ 優良認定業者処理委託量	⑨ 再生利用業者処理委託量	⑩ 熱回収認定業者処理委託量	⑪ 認定外熱回収業者処理委託量
汚泥	49.384						49.384	0.002	45.390	3.992	
廃油	133.174						133.174	72.454		60.720	
廃アルカリ	0.201						0.201	0.001		0.200	
廃プラスチック類	176.300						176.300	109.540	13.680	53.080	
木くず	45.390						45.390	11.040	34.350		
金属くず	15.840						15.840		15.840		
ガラスくず	2.750						2.750	1.190		1.560	
蛍光灯	0.030						0.030	0.030			
廃電池類	0.043						0.043	0.043			
複合材	2.890						2.890	2.890			
産業廃棄物等合計	426.002	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	426.002	197.190	109.260	119.552	0.000

●令和5年度産業廃棄物排出目標値

廃棄物等の種類	① 産業廃棄物排出量	② 自己直接再生利用量	③ 自己中間処理量	④ 自己熱回収量	⑤ 自己中間処理減量	⑥ 自己埋立処分又は海洋投入量	⑦ 全処理委託量	⑧ 優良認定業者処理委託量	⑨ 再生利用業者処理委託量	⑩ 熱回収認定業者処理委託量	⑪ 認定外熱回収業者処理委託量
汚泥	48.890						48.890	0.002	44.936	3.952	
廃油	131.842						131.842	71.729	0.000	60.113	
廃アルカリ	0.199						0.199	0.001		0.198	
廃プラスチック類	174.537						174.537	108.445	13.543	52.549	
木くず	44.936						44.936	10.930	34.007		
金属くず	15.682						15.682		15.682		
ガラスくず	2.723						2.723	1.178		1.544	
蛍光灯	0.030						0.030	0.030			
廃電池類	0.043						0.043	0.043			
複合材	2.861						2.861	2.861			
産業廃棄物等合計	421.742	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	421.742	195.218	108.167	118.356	0.000